



# 春野中だより

〈教育理念〉 自他共愛  
〈学校教育目標〉・明るく・豊かに・たくましく

令和6年度 第2号  
令和6年5月2日(火)発行  
さいたま市立春野中学校  
〒337-0002 見沼区春野 2-2-1  
TEL 682-3951 FAX 682-3952

## 「失敗することより 挑戦できなくなること」

校長 永谷 和俊

桜満開の入学式から1か月が過ぎました。1年生にとっては、新しい出会いと慣れない制服、大きな生活環境の変化などでとても大変だったと思います。しかし、キラキラと輝いた瞳と早く慣れようとする姿勢で、どんどん成長していく姿が見られます。また、あいさつもよくしてくれ、活気もあって、これからもとても楽しみです。

この1年生の急成長は、2・3年生の諸先輩方のおかげです。それは、全校集会では、2・3年生が当たり前のように、ビシッとした整列や姿勢と元気な校歌など、先輩の姿を1年生が見て、真似をしているからです。部活動や普段の学校生活でも、明るく元気に過ごす姿や一生懸命頑張る姿が、1年生により刺激を与えています。これが春野中学校のよき伝統のひとつだと感じています。2・3年生も同様、出会いと別れの4月では、クラス替えや環境変化もあり、疲れがたまってきていると思います。この連休で一息ついて、元気に再スタートが切れればと思っています。「大好き自分」と「自立・自律」を目指して、ますますの成長を願っています。

さて、今回は私の趣味のひとつのランニングの紹介です。4年半前からはじめました。理由は「我が子も大きくなって時間に余裕(子どもが相手をしてくれない)」「過去の話ばかりをしている自分(過去の栄光にすがる)」などありますが、やはり、毎年少しずつ太り続けた結果の「メタボ判定(メタボっ腹・今でも)」が大きな理由です。私は、走ると決めたらとことんやる性分です。スマホのランニングアプリに記録が残っています。見ると、最初は4km走るのに約30分でした。5km、10kmと走れるようになり、半年後にはハーフマラソン(21.1km)に挑戦しています。そして、1年半後には、ウルトラマラソン62kmに初挑戦です。フルマラソン(42.195km)を走る前にウルトラマラソンに初出場です。記録は8:20:06でやっと完走。しかしゴール後には、なぜか涙があふれてきました。「試験で落ちた時も、父親が亡くなった時も涙はこらえたのに、なんだこの涙は？」と、達成感、充実感満点の涙でした。

翌年(昨年)、再び62kmを走ります。しかし、ゴール後に昨年の感動がわきません。ゴール後、「さあ早く帰らないと明日仕事だ！」という感じです。「おかしい、これはもう、無茶だけど100km挑戦するしかない」と、今年の100km初挑戦になります。

ただし、100km完走するにはフルマラソンで4時間を切る力(サブ4)必要だと言われています。その力はありません。ただ、月間200kmぐらい走るも目安のようで、それならできそうだと、月間130~150kmぐらいだったのが月間200km走るようになりました。そしてウルトラマラソンのスタート地点に立ちました。結果は、71.3kmの第5関門で失格です。まだ走れるので悔しかったのですが、実力不足でした。

とりあえず、私の今回の「挑戦」は「失敗」となりましたが、また頑張ります。老いもあり、いつまで記録更新できるのかわかりませんので、今は「失敗」することよりも「挑戦」できなくなることがこわいです。「すごいですね」と言ってくれるのに悪い気はしません。先生・生徒の皆さんの方が、同じ練習量ならあっという間に抜かれていくことは、百も承知です。皆さんに秘めている多くの可能性に、うらやまばかりです。私の目標はサブ4と100km完走です。何か、みなさんの刺激になれば幸いです。



富士五湖ウルトラマラソン 100 km  
距離 71.3 km DNF 時間 10:03:03  
写真は 70 km地点です